

Salon

Vol.119 2019年3月 春号



ホール3F 壁画 ポール・ギアマン作「クインテット」

CONTENTS

- 01 Prime Interview — ソフィー・デルヴォー
- 03 Phoenix Presents — 福田進一&エドゥアルド・フェルナンデス
ジョイントリサイタル
- 05 Pick Up
- 07 Essay de say — 私とピアノ 長富 彩



世界最高峰のオーケストラが認めた
ファゴットの女神、
ザ・フェニックスホールに初登場!
ソフィー・デルヴォーさん

ソフィー・デルヴォーさんは、21歳の時にベルリン・フィルハーモニー管弦楽団に入団、24歳の時にウィーン・フィルハーモニー管弦楽団の首席ファゴット奏者に就任しました。20代前半で世界最高峰のオーケストラに2つも合格し、首席を任されるという驚くべき才能の持ち主。現在はオーケストラでの活動のほか、室内楽での演奏やマスタークラスで後進の指導を行うなど、多方面で活躍中です。

ファゴットはオーボエと同じダブルリードの木管楽器で、その音色が非常に特徴的です。主に中低音域を担当しますが、音の立ち上がりが速いこともあり、ソロパートを演奏することも多い楽器です。ソロが印象的な曲として、例えばストラヴィンスキー「春の祭典」の冒頭、リムスキー=コルサコフ「シェエラザード」の第2楽章、そしてラヴェル「ボレロ」などがあり、ファゴットの音色が楽曲の中で存分に活かされています。

本リサイタルは、ファゴットのためのソナタを軸に、オーボエやチェロの曲を加え、ファゴットの魅力を存分に味わえる内容となっています。

インタビューでは、ソフィー・デルヴォーさんにファゴットの魅力、そしてプログラムの聴きどころなどを伺いました。

(構成・編集：宮地泰史／あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール)

「ソフィー・デルヴォー ファゴットリサイタル」は、2019年6月14日(金)午後2時開演。茶菓付で、入場料3,500円(指定席)、友の会3,150円。学生1,000円(限定数。ザ・フェニックスホールチケットセンターのみお取り扱い)。チケットのお求め、お問合せは同センター(電話06-6363-7999 土・日・祝を除く平日10時~17時)。
【プログラム】 シューマン：3つのロマンス、メンデルスゾーン：無言歌 二長調 作品109、ベートーヴェン：チェロソナタ 第2番 ト短調 作品5-2、ケクラン：ファゴットソナタ 作品71、サン=サーンス：ファゴットソナタ 作品168（予定）

ファゴットの魅力は何と言っても「音色」だと思います

ファゴットを演奏するようになったきっかけは?

私が音楽に触れた始まりは、母が教えてくれたクラシックギターからでした。私はギターが大好きで夢中になって練習しました。この時バッハなど、音楽の基礎になるようなバロック作品に触れられたのはとても良かったと思っています。そのうち、一人だけで演奏が完結するのではなく、他の楽器と共に演できるような楽器を演奏してみたいと思うようになりました。ファゴットを演奏することを初めから決めていた訳ではなかったのですが、最終的にファゴットという楽器を選びました。12歳の頃の事です。

ソフィー・デルヴォーさんにとってファゴットの魅力とは?

ファゴットの魅力は何と言っても「音色」だと思います。この独特の音色は他にはありません!楽器の特徴のことを少しお話すると、ファゴットは「薪束」という意味で、その名の通り、2つの管をジョイントして作られています。オーボエと同じくダブルリードの楽器であり、倍音がとても豊かに響きます。柔らかく暖かな音色で、主に中低域を演奏しますが、フレキシブルな演奏が可能なことからメロディや、ソロパートを演奏することも多いです。

ソフィー・デルヴォーさんは、2013年にベルリン・フィルハーモニー管弦楽団に入団、2015年にウィーン・フィルハーモニー管弦楽団に入団と、二つも世界最高峰の楽団に入団されましたか?二つの楽団で違いはありますか?

ご存じの通りベルリン・フィルとウィーン・フィルはともに、技術と音楽性の面において世界でもっとも優れているオーケストラであり、どちらも

最高の演奏レベルを常に保っています。

ウィーン・フィルの運営に関して少しお話すると、ウィーン・フィルハーモニー管弦楽団は、ウィーン国立歌劇場管弦楽団の中から選ばれたメンバーで構成されています。ウィーン・フィルの目的のひとつに、独自のウィーン・サウンドを継承、保存していくという使命があり、他の楽団と比べて厳密な決まり事があります。例えば、金管楽器や打楽器などで独自の楽器を使用したり、弦楽器はコンサートマスターを除き、全てオトマール・ラング工房で製作されたものが用いられています。こうしたことから独自のウィーン・フィル・サウンドが産み出されます。

何度か来日されていると思いますが、日本について何か印象に残っている事はありますか?また、日本文化に興味はありますか?あるとすれば具体的に教えてください。

私は日本文化が大好きです!日本は素晴らしい伝統と歴史を持つ国です。何度か来日しましたが、印象深いのは日本の皆さんの親切さです。そして、全てのことが完璧に計画され、準備され、そして整理されていることにもとても感動しました。

そして何より食文化!わたしは日本食が大好きです!

プログラムについての質問です。サン=サーンスのファゴットソナタは重要なレパートリーの一つだと思いますが、ソフィーさんにとってこの曲の魅力とは。

サン=サーンスのファゴットソナタは私のお気に入りの作品です。ファゴットの特性、テクニックや音楽性などを十分理解した上で作曲されています。また、この作品は情熱的で、魅力的で、技巧的で…全てが詰まった作品です。どうぞ

ご期待ください。

ベートーヴェンのチェロソナタを演奏されますが、弦楽器であるチェロの曲をファゴットで演奏する際、どのような違いがありますか?またどのような工夫をして演奏されていますか?

この作品は、私にとって特別な作品です。この作品を初めて演奏したのは2014年にベートーヴェン・リング賞を受賞した音楽祭の時でした。ベートーヴェンは偉大な作曲家で、この作品は間違いなく傑作です。もちろん、彼はファゴットのために作曲したわけではありません。また、チェロとファゴットの音色にも違いがあります。しかし、この作品の音楽の核(コア)のようなものはひとつであり、ファゴットでこの作品を演奏する事は、それを表現するための一つの手段だと思います。

ピアノの沢木良子さんとも日本デビューコンサート以来、何度か共演されています。沢木さんのピアノの魅力を教えてください。

沢木良子さんは、卓越したピアニストです!彼女は、完璧に音楽を理解し、私がどう演奏したいかを瞬時に理解してくれます。来日の度に一緒に演奏できるのは、この上ない喜びです。そして、フランス語でコミュニケーションがとれるのは、とても有り難いことです!

最後にお客様にメッセージを。

親愛なる日本の聴衆の皆様。皆様は、私にとっていつも特別な存在です!日本で演奏するように、いつも楽しく演奏できる国は殆どありません。

ファゴットは、ソロで頻繁に聴くことの出来ない楽器です。この機会に、是非私達と一緒にファゴットの魅力に触れて頂けたら嬉しいです!

ソフィー・デルヴォー(Sophie Dervaux / ファゴット)

1991年フランス生まれ。ギターとクラリネットを学んだ後、2003年からファゴットを始めた。リヨン国立高等音楽院を卒業後、ベルリン・フィルのカラヤン・アカデミーでダニエル・ダミアーノに師事。2012年にベルリン・フィルハーモニー管弦楽団のソロ・コントラファゴット奏者に就任。2015年からはウィーン・フィルハーモニー管弦楽団およびウィーン国立歌劇場管弦楽団の首席ファゴット奏者に就任。2013年ミュンヘン国際音楽コンクールで第2位(1位該当無し)を受賞するほか、クルーセル国際コンクール、第1回ムリ国際コンクール、国際アудィ・モーツアルト・コンクール、国際アカデミーオーボエ・ファゴットコンクール、国際ダブルリード協会フェルナン・ジレ=ヒュゴ・フォックスコンクール、若きアーティストのためのコンクールなどでも入賞。2015年ボンでベートーヴェン・リング・アワードも受賞した。ソリストとしては、バイエルン放送交響楽団、ミュンヘン室内管弦楽団、ミュンヘン放送管弦楽団、南西ドイツ・フィルハーモニー交響楽団、シュトゥットガルト放送交響楽団などと共に演奏する。

■Kansai Soloists & Ensembles 23

2019年
8月25日(日)

16:00開演 指定席
一般¥4,000(友の会価格¥3,600)
学生¥1,000(限定数)

出演 福田進一
エドゥアルド・フェルナンデス
(以上ギター)

クラシックギターのマエストロ、福田進一さんプロデュースによる大阪ギターサマーも今回で10回目。記念すべき今年のゲストは、福田さんの盟友でウルグアイ出身のエドゥアルド・フェルナンデスさん。長年デュオとして活動してきた二人ならではの究極のデュオ演奏にご期待ください。また、ソロ演奏では二人がともにライフワークとしてきたバッハを中心にお届けします。巨匠二人のバッハの世界を聴き比べてみてください。他にも豪華で盛りだくさんの内容となっている大阪ギターサマー10周年。お楽しみに!



福田進一(ふくだ・しんいち／ギター)
大阪生まれ。パリ・エコールノルマル音楽院を首席で卒業。1981年パリ国際ギターコンクール優勝。以後30年以上、ソロ・リサイタル、主要オーケストラとの協演、ウルグアイのギタリストE・フェルナンデスとのデュオをはじめとする超一流ソリストとの共演など、国際的な演奏活動を続けている。平成19年度外務大臣表彰。平成23年度芸術選奨文部科学大臣賞受賞。上海音楽院、大阪音楽大学、広島エリザベト音楽大学、昭和音楽大学客員教授。



エドゥアルド・フェルナンデス
(Eduardo Fernandez／ギター)
1952年ウルグアイ生まれ。1972年ポルト・アレグレ国際ギターコンクール(ブラジル)、1975年パリ国際ギターコンクール(フランス)で入賞、1975年アンドレス・セゴビア国際ギターコンクール(スペイン)で1位。そのほか数々の国際コンクールで入賞。デッカ、エラート、DENONなどで多数のCDを制作。バッハから現代音楽まで幅広く、ベリオのSequenza XIなど世界初録音の作品も多い。モンテヴィデオ音楽大学で数年間教鞭をとるなど後進の教育にも熱心に取り組み、世界中のマスタークラスや講座に招かれている。

ギターサマー2019 フェスティバルコンサート(修了コンサート)

- 開催日程 **2019年8月25日(日)** 13:00開演 自由席
- 一般 ¥1,500 ※学生券、友の会の割引はありません。チケットセンターのみのお取扱い ※「福田進一&エドゥアルド・フェルナンデス ジョイントリサイタル」のチケットをご購入の方は無料。(要事前申込み。定員200名になり次第、締め切らせていただきます。)
- 出演 公開マスタークラス受講生、アンサンブルワークショップ受講生 ゲスト出演:岩崎慎一、益田展行、猪居謙、猪居亜美(以上ギター)
- 曲目 林そよか:新曲(あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール委嘱作品2019)、公開マスタークラス受講曲 ほか



福田進一&エドゥアルド・フェルナンデス ギター公開マスタークラス 受講生募集

若きギタリストを育成する公開マスタークラスです。気概あるギタリストからのご応募をお待ちしております。

- 開催日程 **2019年8月24日(土)** 13:00開始
- 募集部門 ソロ部門、デュオ部門 最大4組
- 参加費 受講料は無料。交通費や宿泊費は自己負担とします。
- 応募締め切り 2019年6月14日(金)必着 ※詳細は、募集要項、当ホールホームページでご確認ください。



ギターアンサンブル ワークショップ 受講生募集

今年も林そよかさんの新曲に挑戦します。ギター愛好家の皆さんのご応募をお待ちしております。

- 開催日程 **2019年5月27日(月)～8月25日(日)** のうち8回開催
- 募集人数 20名程度 ■講師 岩崎慎一、益田展行、猪居謙、猪居亜美(以上ギター)
- 参加費 「福田進一&エドゥアルド・フェルナンデス ジョイントリサイタル」のチケット、2枚以上のご購入をお願いいたします(学生券不可)。また、参加に伴う交通費や宿泊費などは自己負担とします。
- 応募締め切り 2019年5月8日(水)必着 ※詳細は、募集要項、当ホールホームページでご確認ください。



■お問い合わせ・募集要項の請求

〒530-0047 大阪市北区西天満4-15-10

あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール「大阪ギターサマー」事務局

TEL 06-6363-0211 FAX 06-6363-1124

E-mail concert@phoenixhall.jp URL <http://phoenixhall.jp>



**3月8日(金)
10:00 受付開始
ザ・フェニックスホール
友の会優先予約**

**3月11日(月)
10:00 受付開始
イーフェニックス
E-PHX優先予約**

**3月12日(火)
10:00
一般発売**

インターネット予約、ご来店による
お申込みは**3月13日(水)10:00**から!

■アンサンブル・ア・ラ・カルト63

2019年9月24日(火)

19:00開演 指定席
一般¥4,500(友の会価格¥4,050)
学生¥1,500(限定数)

**ヴィオラの巨匠、至高の弦楽五重奏
今井信子presents 今井信子×アマリリス弦楽四重奏団**

出演 今井信子(ヴィオラ)
アマリリス弦楽四重奏団／
グスタフ・フーリングハウス、レナ・サンドゥ(以上ヴァイオリン)、赤坂智子(ヴィオラ)、イヴ・サンドゥ(チェロ)
曲目 モーツアルト：弦楽五重奏曲 第2番 ハ短調 K406 ラヴェル：弦楽四重奏曲 へ長調
ドヴォルザーク：弦楽五重奏曲 第3番 変ホ長調 作品97 B.180 (予定)

アマリリス弦楽四重奏団とは昨年初めてスイスとドイツで共演したのですが、非常に真摯に真正面から弦楽四重奏に取り組んでおり好感を持ちました。徹底的に話し合いを重ねながら練習を行い、本番では個々が生き生きと自由に演奏する—私が知っている昔ながらのクアルテットの姿が彼らに重なりました。今どんどんとベテランのクアルテットが引退をしてゆくなかで、彼らには是非頑張ってその伝統を引き継いでいってほしいと思っています。

(今井信子／ヴィオラ奏者、あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール音楽アドバイザー)



©Marco Borggreve

今井信子(いまいのぶこ／ヴィオラ)

桐朋学園大学卒業。イエール大学大学院、ジュリアード音楽院を経て、1967年ミュンヘン、68年ジュネーヴ両国際コンクールで最高位入賞。70年西ドイツ音楽功労賞受賞。ベルリン・フィル定期や小澤征爾指揮サイトウ・キネン・オーケストラとのザルツブルク音楽祭出演など、世界の桧舞台で活躍を続けている。マルボロ、ラヴィニア、ヴェルビエなど世界各地の音楽祭にも頻繁に招かれている。2003年にはミケランジェロ弦楽四重奏団を結成、カルテットのメンバーとしても積極的な活動を展開している。日本では、1987年より東京カザルスホールの音楽アドバイザーを務めたほか、「カザルスホール・アンサンブル」、「ヴィオラスペース」などの企画・演奏に携わる。2011年4月よりあいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール音楽アドバイザー。フィリップス、BIS、グラモフォンなどから40以上のCDをリリース。これまでにエイボン女性芸術賞、文化庁芸術選奨文部大臣賞、京都音楽賞、モービル音楽賞、毎日芸術賞、サントリー音楽賞を受賞。紫綬褒章、旭日小綬章受章。アムステルダム音楽院、クロンベルク・アカデミー、ソフィア王妃高等音楽院各教授。上野学園大学特任教授。北京中央音楽院客員教授。スイス在住。



アマリリス弦楽四重奏団

(Amaryllis Quartet／弦楽四重奏団)
「若々しい感性と知性に裏打ちされた自由な演奏」(バーディッシュ新報)、「驚異的なテクニック」(南ドイツ新聞)などアマリリス弦楽四重奏団は同世代を代表する弦楽四重奏団として聴衆、批評家から高い評価を得ている。ヴァルター・レヴィン、アルバン・ベルク弦楽四重奏団およびギュンター・ピヒラーに師事。2011年第6回メルボルン国際室内楽コンクール(オーストラリア)優勝。2012年ユルゲン・ポント財団室内楽賞受賞。これまでに楽友協会ホール(ウィーン)、コンツェルトハウス(ベルリン)、ウイグモアホール(ロンドン)などに出演、またシュレスビヒル・シュタイン、ラインガウ、ルツエルンなどの国際音楽祭にも度々客演している。2011年にリリースされたCD「ホワイト」はドイツのエコー・クラシック賞を受賞。2012年度の最優秀室内楽録音賞も受賞した同作はのちに高い評価を得る事になる「カラー・シリーズ」の第一弾となつた。最新盤は「イエロー」である。

ホール主催・共催・協賛公演チケットのお申込み方法

06-6363-7999

土・日・祝日を除く平日の10:00～17:00

■ザ・フェニックスホール友の会優先予約

- ・ザ・フェニックスホール友の会会員様の優先予約日です(電話予約のみ)。
- ・主催公演1公演につき会員お1人様2枚まで1割引でお求めいただけます。チケット購入の際、枚数制限はありませんが、3枚目以降は一般価格となります。
- ・友の会への入会をご希望の方は、チケットのお申込み時に電話でお申しつけください。同時に優先予約をお受けすることができます。その際、年会費1,000円が別途必要となります。

■E-PHX(イーフェニックス)優先予約

- ・E-PHX(イーフェニックス)にご登録の方の優先予約日です(電話予約のみ)。
- ・チケット購入の際、枚数制限、割引はありません。
- ・事前にザ・フェニックスホールホームページ、ホール会員のページからご登録ください。お電話でのご登録はできません。

■一般発売

- ・一般発売日は、電話予約のみのお申込みとなります。
- ・チケット購入の際、枚数制限、割引はありません。

http://phoenixhall.jp/

チケットセンターのページからお申込みください

直接のご来店による お申込み

- ・ザ・フェニックスホールチケットセンターはホール建物8階、エレベーターを降りて廊下右手です。



チケットお申込み後のお受け渡し方法

下記①または②のどちらかとなります。

- ①お申込み日から10日以内にザ・フェニックスホールチケットセンターへご来店ください。
営業時間は土・日・祝日を除く平日の10:00～17:00です。

- ②先に郵便振込みをしていただき、入金確認後チケットをご郵送させていただきます。皆様のお手元にチケットが届きますのはご入金をいただいてから約10日後となります。その際、振込手数料はお客様にてご負担ください。尚、郵送は簡易書留(一律420円)のみとさせていただきます。

振込口座 00940-0-95351 加入者名 ザ・フェニックスホール

■フェニックス・エヴォリューションシリーズ89

主催 アンサンブル音坊主 officeM

2019年8月7日(水)

18:20~18:40 プレトーク開催

19:00開演 自由席

一般前売¥3,000(友の会価格¥2,700)

一般当日¥3,500(友の会価格¥3,150)

学生前売¥2,000 学生当日¥2,500

※友の会割引は1会員2枚まで。

※学生券は大学生以下対象。

音坊主～メシアンへと続く道～ 大阪公演 La voie tracée par Olivier Messiaen

出演 萩田真理(ヴァイオリン)、中 実穂(チェロ)、西川智也(クラリネット)、松尾久美(ピアノ)

曲目 マシヨー(夏田昌和 編):ダヴィデのホケトゥス

ル・ジュヌ(夏田昌和 編):シャンソン集「春」より“また春がきた”

クープラン:クラヴサン曲集第3集 第14組曲より「恋の夜鳴きうぐいす」

ストラヴィンスキー:組曲「兵士の物語」より“小さなコンサート”

ドビュッシー(夏田昌和 編):前奏曲集第1集より「帆」

メシアン:世の終わりのための四重奏曲

メシアンが第二次大戦中、ドイツ軍の収容所で書いた約50分にも及ぶ大作「世の終わりのための四重奏曲」(熱心なカトリック信者であったメシアンは、新約聖書「ヨハネの黙示録」に影響を受けこの曲を作曲した)をメイン・プログラムに「メシアンへと続く道」と題し、メシアンがその大胆な韻律法に影響を受けたというルネサンス時代の作曲家ジュヌの声楽アンサンブル曲や、ドビュッシーのピアノ曲「帆」をカルテット版の新編曲で、更にメシアンが愛してやまなかった鳥の囀りが可愛らしいクープランの作品、メシアンに先んじるリズムの革新者ストラヴィンスキー「兵士の物語」からの一曲と共に届けます。なかなか聴くことの出来ない音坊主ならではの興味深いプログラムとなりました。お聴き逃しなく！



アンサンブル音坊主

(あんさんぶるおとぼうず／アンサンブルグループ)

現代に至るまでのクラシック音楽の流れ、歴史を好奇心に基づく演奏で表現するアンサンブルグループ。桐朋学園大学で出会った仲間を中心に2002年より活動。2004年にはS・ライヒ作曲「シティライフ」の日本初演を行った。2016年に10年程中断していた活動を再開。ユニークな個性が集まる団体としてその活動が注目されている。メシアンの「世の終わりのための四重奏曲」を演奏するのはレクチャーも含め今回で4度目である。

<https://otobozu.themedia.jp/>

あいおいニッセイ同和損保ザ・フェニックスホール協賛公演のご案内

ザ・フェニックスホール友の会会員の方には割引特典があります。
当日券をお買い求めの際は会員証をご提示ください。

協賛公演 関西二期会サロンオペラ 第18回公演「秘密の結婚」

主催 公益社団法人関西二期会

2019年4月17日(水)、18日(木) 19:00開演 自由席 一般前売・当日¥3,500(友の会価格¥3,150)

出演 袖岡浩平(指揮)、高木 愛(演出)、須山由梨(ピアノ)、米田哲二(公演監督)

キャスト(17日):有本裕之、津島凪子、野々村瞳、

板井美知、山咲 韶、チョン・ウォン

キャスト(18日):萬田一樹、中西千尋、荒尾公美子、

名島嘉津栄、細川 勝、藤田大輔

曲目 チマローザ:歌劇「秘密の結婚」

毎回ご好評を頂いております関西二期会サロンオペラ。気軽にプロの演奏を楽しんで頂くことをテーマに公演を重ねてきました。第18回公演は、「イタリアのモーツアルト」と称されたチマローザの代表作。18世紀ウィーンでの初演ではあまりの面白さに初日当日に再演されたという名作。オペラブッファの魅力を歌手の息遣いまで感じられるザ・フェニックスホールの空間でお楽しみください。



協賛公演 荘村清志 デビュー50周年記念 ギターリサイタル

主催 おおの音楽事務所

2019年5月25日(土)、26日(日) 14:00開演 指定席

一般前売・当日¥4,000(友の会価格¥3,600) 2日間通し券¥7,000(友の会割引なし) ※友の会割引は1会員2枚まで。

出演 荘村清志(ギター)

曲目 25日 J-S・バッハ:無伴奏チェロ組曲 第5番、第6番

アルベニス:グラナダ

タルレガ:アルハンブラの想い出 ほか

26日 J-S・バッハ:シャコンヌ

バリオス:郷愁のショーロ

イルマル:バーデン・ジャズ組曲 ほか

1969年のデビューリサイタルから50年目を迎える今、なおギター界の第一人者として圧倒的な存在感を示し続ける莊村清志の節目となる記念リサイタル。近年は異なる様々なジャンルのアーティストとの共演に精力的に取り組んでいるが、今回はまさに「原点回帰」。彼が終生のテーマとして取り組むバッハ、タルレガ、アルベニスなどのスペイン音楽、そしてバリオス、ヴィラ=ロボスなどの南米音楽と二日間にわたってがっぷり取り組む渾身のソロリサイタルだ。



©公文健太郎

協賛
公演

三輪 郁 “ピアノのために”

2019年6月7日(金) 19:00開演 指定席 一般前売・当日¥3,500(友の会価格¥3,150) ※友の会割引は前売のみ。

発売中 出演 三輪 郁(ピアノ)

曲目 モーツアルト:アダージョ 口短調 K540
ピアノソナタ イ短調 K310
ドビュッシー:レントより遅く
ピアノのために
シューマン:謝肉祭 作品9

シュトイデなどウィーン・フィル歴代のコンサートマスターや首席奏者、シェレンベルガー、カニュカをはじめとする内外の一流アーティストからの高い信頼により共演を重ねているウィーンで育まれたピアニスト。



©小島竜生

協賛
公演

辻本 玲 チェロ・リサイタル

2019年6月8日(土) 14:00開演 自由席
一般前売¥3,000(友の会価格¥2,700) 一般当日¥3,500(友の会価格¥3,150) 学生前売¥1,500 学生当日¥2,000

発売中 出演 辻本 玲(チェロ)、須関裕子(ピアノ)

曲目 J-S・バッハ:無伴奏チェロ組曲 第2番 二短調 BWV1008
ベートーヴェン:チェロソナタ 第5番 二長調 作品102-2
ドビュッシー:チェロソナタ 二短調
R・シュトラウス:チェロソナタ へ長調 作品6 ほか

今年はチェロレパートリーの王道のバッハ無伴奏組曲とベートーヴェンのチェロソナタ、後半はスパイスたっぷりのドビュッシーと、聴いたら間違いなく元気になるれる底抜けに明るいシュトラウスのチェロソナタ。辻本 玲の魂のこもった歌と、ストラドが紡ぎ出す美音をぜひ聴きにいらしてください。



©竹原伸治

協賛
公演

第10回 ICEPベトナム/日本 活動報告コンサート2019

2019年6月15日(土) 19:00開演 指定席

一般前売・当日¥6,000(友の会価格¥5,400) ※友の会割引は1会員2枚まで。

4/1(月)
発売中 出演 五嶋みどり、タチアナ・ルース(以上ヴァイオリン)
シャーロット・マリン(ヴィオラ)
アラン・トダー・アンバラス(チェロ)曲目 モーツアルト:弦楽四重奏曲 第16番 変ホ長調 K428
ブッチーニ:弦楽四重奏曲「菊」
ドビュッシー:弦楽四重奏曲 ト短調 作品10(予定)

ヴァイオリニスト五嶋みどりが理事長を務める認定NPO法人ミュージック・シェアリングでは、国内外の学校・病院・福祉施設などに音楽の喜びを届けるプログラムを実施しています。活動の一「インターナショナル・コミュニティー・エンゲージメント・プログラム(ICEP)」では、五嶋みどりが若手演奏家とカルテットを組み、2018年12月はベトナム、2019年6月は日本の各地に本物の音楽を届けます。コンサートではカルテットによる弦楽四重奏をお楽しみいただきながら、ベトナム・日本での活動についてご報告させていただきます。

主催
認定NPO法人
ミュージック・
シェアリング協賛
公演

藤原道山×SINSKE 「和★SHOWA★」

2019年6月20日(木) <昼公演>14:00開演 <夜公演>19:00開演 指定席
一般前売¥4,500(友の会価格¥4,050) 一般当日¥5,000(友の会価格¥4,500)

発売中 出演 藤原道山(尺八)、SINSKE(マリンバ)

曲目 ドヴォルザーク:交響曲 第9番「新世界より」
伊福部 昭:映画「ゴジラ」よりメインテーマ
米山正夫:リンゴ追分
中村泰士:喝采
昭和時代を彩ったCMソングメドレー ほか

尺八の新たな魅力を拓く第一人者として、邦楽のみならず幅広いジャンルで活躍する藤原道山。5オクターブのマリンバを自在に操り、唯一無二の世界観で様々なジャンルを奏でるSINSKE(シンスケ)。8年目は二人が生まれた「昭和」をテーマに、時代を彩ったクラシックや日本唱歌、ポップスなど、ジャンルを超えた名曲の数々に、オリジナル楽曲を交えお届けします。

主催
株式会社MUNIQUE
株式会社DO協賛
公演福井敬スペシャルリサイタル 2019 in 大阪
～清水華澄を迎えて「カルメン・ハイライト」！～

2019年6月29日(土) 14:00開演 指定席 一般前売・当日¥5,500(友の会価格¥5,000)

発売中 出演 福井 敬(テノール)、谷池重紘(ピアノ)
スペシャルゲスト 清水華澄(メゾソプラノ)曲目 中田喜直:歌をください
R・シュトラウス:セレナーデ
ビゼー:歌劇「カルメン」より
ハバネラ「恋は野の鳥」、花の歌、闘牛場の前で ほか

わが国を代表する名テノール福井 敬が歌曲を中心に歌声を響かせる第一部。そして第二部では、昨年アイーダで福井と共に演じた清水華澄が登場。若くしてNHKニューイヤーオペラにも出演を重ねている彼女と「カルメン」をハイライトでお届けします。

主催 福井敬.net



私とピアノ

— 長富 彩



Keizo Matsui

「私はピアノを弾かせてください！」…クラスメイト達の前で母に土下座をした幼稚園児は私だ。この一言が私の音楽人生の全ての始まりである。さしてピアノに憧れていたわけではない。理由は単純で、クラスでピアノを弾いていた女の子がみんなの注目、拍手喝采を浴びていたのが悔しくて羨ましくて仕方なかったのだ。ピアノを弾けば人気者になれると思った私がその先の地獄のような日々など想像することなく軽く口走っただけのことなのだ。

ピアニストだった母は、ピアノをやらせれば、世の中の芸事を学ぶ親子によくあるように自分が大変に厳しくなる事を想像でき、私はピアノはやらせたくないかった。だが、あまりに本気で娘がお願いするため、しぶしぶやられてみたらピアノだけは何か光るものがあったという。

かくいう私は最初はピアノを弾く事が楽しかったものの、まだ幼稚園児なのに先生のレッスンの帰りに怒られたり、小学生になっても友達と遊ぶ時間もなく、学校から帰宅したら5時間は最低ピアノに向かう日々。
そう。“こんなはずじゃ無かった”のだ。

目立てればそれで良かったのに。だが私はもちろん、両親も恐らく「ピアニストになろう」「ピアニストにしよう」と思ってピアノと向き合っていたわけでは無い。厳しい日々に毎日帰宅するのが憂鬱だったのに、やめたかったのに、でもピアノの椅子の前に足が向くのは間違いくな自分の意志だった。小学生の頃から強く目指すことは無くともピアニストになるべく道を自ら本能で進んでいたのだと思う。

コンクールや試験で良い結果を取ろうと思ったこともない。が、ピアノというその1つの壮大なオーケストラが私の日常からいなくなる人生は選択肢には無かつたのだ。感情表現が苦手な私にとってピアノは言葉。怒りに震え

る時も悲しみに打ち拉がれている時もどんな時もピアノの音に乗せて来た、ぶつけてきた。結果の為だけに音楽を奏でる生活が耐えられず、自分の“言葉”と向き合う為に音楽高校卒業後、ハンガリーのリスト音楽院に留学する。その2年後にはアメリカに渡り一人であらゆる空気を吸収し、帰国後にプロとしてピアノと歩む事になったのだ。

責任感の中で演奏会と向き合う日々、私の中で一番大切にしてきた“ピアノは言葉”という事を忘れてしまう瞬間があった。そんな殻から抜け出す為に再び3年前にハンガリーの師のもとへ学びに行き、その合間にベートーヴェンゆかりの地ハイリゲンシュタットを訪れた。ベートーヴェンが療養に訪れ、弱い自分との決別のために遺書をしたためた土地、そこで感じた空気はそれまで凝り固まってしまった私を広い音楽の世界に解放してくれたものだった。

そんな体験を経て、昨年ザ・フェニックスホールでベートーヴェンを奏でる事が出来た喜びは頗ってもないものだった。関西に住むようになって5年以上、何度も観客としてこのホールの響きに耳を傾けて来た私が、舞台に立ち奏でる事が出来た事はとても感慨深い出来事だ。

ただ人気者になりたかっただけ、軽い気持ちで始めた事がこれほどまでに私の人生に深く関わってくるとは思わなかつたが、本当に必要な事というのはどんなに苦しくても向こうからついてくるものだと感じる。

またザ・フェニックスホールの舞台に立つ事が出来たなら、今度はどんな作曲家とどんな“言葉”を語らい、奏でられるだろう。

その瞬間に楽しみにこれから日々を大切に生きて行きたいと思う。

長富 彩(ながとみ・あや)/ピアノ奏者 2005年に東京音楽大学付属高校を特待生で卒業、同年よりハンガリー国立リスト音楽院でバトルーやリストの研究者で世界的に著名なジョルジュ・ナードルに師事。2008年より米国に拠点を移して演奏活動を開始。これまでに日本コロムビアより3枚のアルバムをリリース。2019年2月22日にオール・ショパンの新譜「Aya Nagatomi plays Chopin」をリリース予定。現在、日本各地でのリサイタルに加えオーケストラとの協演、室内楽などの分野において精力的に活動。http://www.ayanagatomi.com/



あいおいニッセイ同和損害保険株式会社は、あいおいニッセイ同和損害保険ザ・フェニックスホールをフェニックスタワー内に設けています。芸術・文化の発信基地として、関西の芸術文化発展に寄与しています。

〒530-0047 大阪市北区西天満4-15-10 あいおいニッセイ同和損害保険フェニックスタワー8F TEL 06-6363-0211
Copyright(C) 2011 The Phoenix Hall All rights reserved. 本誌に掲載された記事、写真、イラスト等の無断掲載を禁じます。

発行年月 2019年3月
発 行 あいおいニッセイ同和損害
ザ・フェニックスホール
編 集 諸藤 修一
デザイン 松井桂三有限会社

